

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第8期第5回相模原市中央区区民会議（グループC）		
事務局 (担当課)		中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時		令和7年10月29日（水） 9時45分～11時30分		
開催場所		相模原市立産業会館 4階 特別会議室		
出席者	委 員	4人（別紙のとおり）		
	その他	0人		
	事務局	2人（区政策課職員）		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<div style="text-align: center;">開 会</div> <div style="margin-top: 10px;"> 1 議題 （1）中央区基本計画の取組状況の検証について ○グループC <ul style="list-style-type: none"> ・取組目標Ⅴ：豊かな環境をつくり、次世代へつないでいる ⇒【環境保全、都市緑化、生物多様性】【地球温暖化・廃棄物】 ・取組目標Ⅵ：わたしも、あなたも、誰もが輝いている ⇒【参加・協働、区政（分権）】、【行政サービス、広聴広報、公共施設マネジメント】 </div> <div style="text-align: center;">閉 会</div>		

主な内容は次のとおり。

開 会

事務局から、運営に係る事務説明を行った。

—傍聴希望者 なし—

1 議題

中央区基本計画の取組状況の検証について

事務局よりグループワーク参考資料を配布、説明し、グループワークを行った。

主な意見等は以下のとおり。

■取組の方向V－2 ①環境に対する意識の向上

(斎藤委員)

市民桜まつりで、SDGsエリアを運営し、環境団体による啓発活動に参加した。また、4Rフェアではごみ減量に関する啓発も実施している。

意識向上の観点では、昨年自宅に太陽光発電を導入した。スマートフォンで発電量や電気代削減効果を確認でき、データとして可視化されることで取組の成果を実施できる点が良いと感じている。

(丹波委員)

清新地区の公民館にも太陽光発電を設置しており、モニターでデータが確認できるようになっている。

(斎藤委員)

太陽光発電は初期費用はかかるものの、意識の向上につながる点では有意義。

ただし、相模原市は東京都などに比べて補助金が少ないと感じる。

また、講演会で「生物多様性」をテーマにした内容を聞いた。自宅の庭など身近な環境で多様な植物を植えることで生物多様性を活かすことができるという話が印象的だった。

(丹波委員)

南橋本の自治会館でも、補助を受けて太陽光発電を設置している。

(山本委員)

こもれびの森では、防犯カメラの電力を一部太陽光でまかなっていると聞いたことがある。

(斎藤委員)

東京都や横浜市では新築住宅への太陽光設置が義務化されており、相模原市も検討していると聞く。

(丹波委員)

義務化を進める場合は、補助金制度の見直しも必要である。

(斎藤委員)

太陽光発電が普及すれば、山林を削って建設されるメガソーラーを減らすことができる。電力の地産地消が最も効率的だと考える。

(代田委員)

大規模工場でも耐震対策とあわせて太陽光発電の導入が進んでいる。

(丹波委員)

清新地区の中学校では、地域のごみ問題や騒音問題について学ぶ授業が行われた。話し合いの結果、特にタバコのポイ捨てが課題であるとの結論になった。

(斎藤委員)

喫煙者は減っているが、喫煙場所が少なくなったことにより屋外で吸う人が増え、結果としてごみが目立つように感じる。

(丹波委員)

地域活動の一環として、相模原高校から11月に清掃活動を実施したいとの申し出があった。

(代田委員)

田名地区はごみが少なく、全体的に清潔である。

(丹波委員)

雑草の繁茂が課題であり、対策を検討する必要がある。

■取組の方向V-2 ②資源循環型の社会の推進

(山本委員)

上溝夏祭りでは例年、竹を飾りつけに使用していたが、今年は使用後の竹を廃棄せず青竹踏みに再利用した。また、ごみ削減の取組として、空き缶を潰してスーパーのリサイクルボックスに出し、段ボールは子ども会の資源回収日にまとめて出すなど、自治会で排出量の削減を進めた。

他にも、回覧板を紙からLINEによる電子回覧に変更し、新しく転入してきた外国人住民には、市ホームページに掲載されている多言語版の「ごみ収集日一覧」を渡すようにしている。

(丹波委員)

粗大ごみを廃棄するのではなく、「ジモティー（スポット）」などを活用してリサイクルすることも重要である。また、祭りで発生したごみを今年は置いて帰ってよいことにしたが、処理費に約8万円かったため、来年以降は見直す必要がある。分別表示を徹底すれば、市民は協力的に分けてくれると感じる。

(山本委員)

ごみネットに釣りのおもりを付けると、風で飛ばされたりカラスに荒らされたりしにくくなる。

(代田委員)

田名地区では黄色いネット（以前、自治会で配布）の評判が良い。

(丹波委員)

ごみ出しを有料化する必要がある。負担を感じることで意識改革につながるのではないかな。

(斎藤委員)

ただし、有料化には反対意見も出てくることが課題である。

■取組の方向VI-1 ①多様な人々によるまちづくり

(代田委員)

田名地区は「ボッチャ」を通じて様々な団体との交流を行っている。

(斎藤委員)

娘が橋本に住んでいるが、自治会への入会方法が分からないと言っていた。若い世代への周知が必要である。

(丹波委員)

将来の介護や地域支援を見据え、講演などを通じて若者に自治会の意義を伝え、参加を促すことが重要である。

(山本委員)

例えば、「自治会に入ると保育所に入りやすい」といった具体的なメリットがあれば加入者が増えるのではないか。

(丹波委員)

まずは自治会の模擬店など、気軽に参加できる活動から始めてほしい。

(代田委員)

現状では、若者が自治会に入るメリットを感じられないことが問題。

(斎藤委員)

災害時に自治会に加入していない人を助けないわけにはいかない。地域全体のつながりをどう築くかが課題。

(代田委員)

D X的な視点で言うと、会議の打ち合わせをリモートで行うこともある。

(斎藤委員)

ただし、リモートでは顔が見えず、つながりの希薄化が懸念される。

■取組の方向VI-1 ②区役所の果たすべき役割の強化

(斎藤委員)

区役所がどのような事業を行っているか分かりにくいとの声を聞く。区民会議の活動内容や成果を広報などで積極的に発信して欲しい。また、参加者同士の懇親の場があると望ましい。

(丹波委員)

会議に出てこない市民の意見を聞く仕組みが必要。生活実態や課題を知ることで、新たなアイデアが生まれると思う。

(代田委員)

身近な買い物の課題などを把握できれば、買い物支援の施策検討にもつながる。

(斎藤委員)

中央区役所が地域の声を受け止め、各課と連携して反映してくれるとありがたい。

閉 会

以 上

第8期第5回相模原市中央区区民会議（グループC） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	斎 藤 奈 美	特定非営利活動法人and Advance		出席
2	代 田 修	田名地区まちづくり会議		出席
3	丹 波 晴 道	清新地区まちづくり会議		出席
4	山本あづさ	公募委員		出席
5	大 井 駿 平	公益社団法人相模原青年会議所		欠席
6	山 口 信 郎	大野北地区まちづくり会議		欠席